

対称な図形をつくって、オリジナルマークをつくろう！

単元	対称な図形	対象学年	6年
ねらい	対称な図形を描く技能を身に付けるとともに、図形を描く楽しさを実感し、身の回りの生活に役立てることができる。		

1 準備するもの

教師： 対称な図形の見本
(今回は平等院鳳凰堂の写真など)



2 学習のしかた

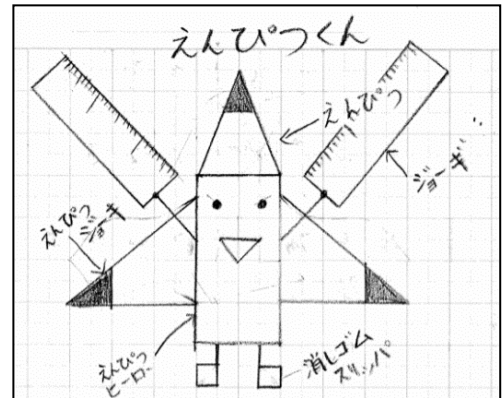
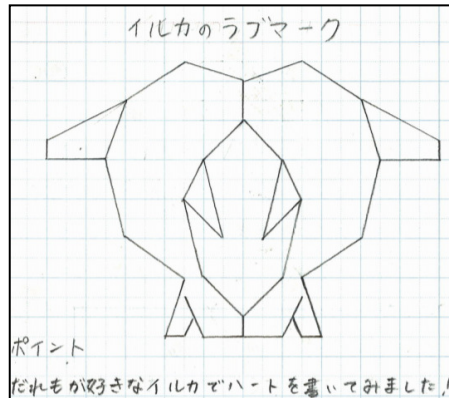
- 単元の導入部で、対称な図形について紹介し、気付いたことや感想を発表する。その際に、対称な図形の美しさに言及している意見があれば取り上げる。
- 身の回りには対称性が取り入れられたたくさんのデザインやマークがあることをおさえ、単対称性を生かしたオリジナルマークを作図することができるようになることを単元の目標として設定する。



- 対称な図形の性質や作図の方法等について教科書を用いながら学習する。その際に、振り返り等で常に単元の目標を児童に意識させ、作図できるようになりたいという思いをもたせる。
- 単元の終盤部で、線対称や点対称を用いて、オリジナルマークの作図を行う。



(5) 自分の作ったマークを友達に紹介する活動を通して、なぜ線対称、点対称な図形と言えるのか説明する時間を設定する。



3 学習上の留意点

- ・単元の導入部で対称な図形の美しさや日常生活で使われていることにふれることで、自分もかけるようになりたいという児童の思いをもたせるようにする。
- ・オリジナルマークを作成した際には、周りの友達に自分のマークを線対称や点対称な図形であることの説明とともに、対称な図形にするために工夫した点を説明するよう指示する。

4 学習の効果

- ・友達に自分のマークが線対称、点対称になっていることについて根拠をもって説明する活動を通して、線対称や点対称な図形の性質や特徴を再確認することに繋がる。
- ・対称な図形を描く技能を身に付け、図形をかく楽しさを実感することができる。
- ・振り返りに「デザイナーになることが夢なので、対称な図形の描き方を生かしてデザインをたくさんつくってみたい」と書いた児童がおり、学習内容を日常生活に生かしているという態度が養われた。